

【事業名：絶滅危惧植物の保全をつうじた地域コミュニティの再生事業】

事業費（予算額）： 398,700 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）

- ◎ 地区に於いて代々守り続けていた「ハマボウフウ」が、自生している海岸から乱獲により激減し絶滅のおそれがある。保護保全に取り組む重要性。

見込まれる成果

- ◎ 子供達を含め、地区の皆で取り組む事により地域資源である「ハマボウフウ」への理解と愛着をより深められ資源の回復が望める。
- ◎ コミュニティの活性化が図られ後継者となる保護者世帯らと取り組む事により地域の構築向上。

D 事業の概要

- ☆ 乱獲防止及び地区で「ハマボウフウ保護保全活動」に取り組んでいる看板設置「5ヶ所に」
- 《 自生している個体から種子取り作業⇒ポットに播種作業⇒保護、保全区域に植え付け 》3年計画
- ☆ 種子取り作業・30年7月～8月「4回」子供達を含め皆で多くの種子採取が出来た。参加者延85名
- ☆ 播種作業・30年11月,12月,31年1月,3月に行いました。4月,5月も予定。参加者延80名
- ☆ 植え付け作業・苗が育って2～3年後の春（5月頃）保護区域（看板設置周辺）に植え付け予定。
- ☆ 育てた「ハマボウフウ」を使った料理教室イベント等開催。
- ☆ 環境美化・,海岸周辺の清掃活動実施. 多種のごみの収集をしました。今後も環境美化活動予定。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
					○				

・上記評価の理由

3年計画の中で順調な滑り出しだと思います。地域の方に「ハマボウフウ」の実態を周知する事が出来た。自然相手の事業なので育苗等まだまだ手探り感が強い。共同作業を通じ意識は地域の皆が共有出来活性化に繋がった。広報（山陰中央新報）で,2度啓発することが出来ました。〔 6/5・8/25 〕

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ☆ 地域の資源として意識付けし今後向上させる。（地域の問題＝地域コミュニティの構築）（手段・手法を活かして最終目標の達成）
- ☆ 地域の多くの人に参加して頂き共有を深める。
- ☆ 種子の発芽,育成,自生海岸への植え付け,と継続し成功させたい。取り組みの拡大を図る。（国府地区、各種団体等に）☆ 取り組みを広報等で(新聞等)掲載して戴き活動をアピールしたい。

別紙添付有り



8月12日：個体から種子取り作業（看板設置周辺）



31年1月5日：育成ポットに播種作業をしました。